震えを覚えていた。 家中に札を貼る。 たちまち眠気が差し、 いつしか怪異は消え失せたが、灯台を仰ぐ俺の耳はその 幾度か溺れかけた。 心配した母は、

小豆洗いという化け物がいる。

籠の中で小石を揺するような繰り返しが浴室を満たす。

湯船に浸かるといつもその音がした。

3 4 日本職という出も対ないる。

見け初芸生コシーツや力がり、踏みら小さな輝を願い去 窓を白いずのな風る。見る間い獺の遠へ流され、下井の窓を白いずのな風る。見る間い獺の遠へ流され、下井の 虽な同える。とんさ掛け国卦字。 かお大申まひでい合而。 悲劇が土がです。

| は来る中に見ってあると下地も布き消えていた。

負棚番十 行势東百

がっている。 見回すが、誰の姿もなかった。井戸の傍に石が幾つか転

「大事ない。水神様がいらっしゃる」

負棚番十 行办鬼百

勝瀬の子掛式るでは。玄事以付き合みちれ式挙向以子典

るというといるといる。

6

縁側を渡るしな俺は呟きを捉える。

「怖い、怖い」

拍子木の音が家中まで響いてくる。最近、不審火が絶え

かたなく刻い城ってあったホールを下掛と投わ合った。

線香の製化票パ、下拠の姿材敷らい汁。

「まだだよ。 もう少しだけ」

の世話とは嫌いなる。 なかった。 「明日は我が身」

「よ母をとおり」 ランつ理

こそこそ岩という化け物がいる。

思言はというといる。

い出していた。

訃報を伝える友人の言葉は遠く、俺は彼女のえくぼを思

蚤の向こでから小ちお湯が近付いていす。

の無極調というとは極いる。

「毒地で、毒地で、84半でも用し」

盲い、対多突い式巻人である。

現世をさまよう

いまだ人という化け物に至れず

百鬼夜行 十番勝負

しる毒地

「なあ知ってたか?」

記憶を探る俺を他所に黒電話が鳴り出す。

煙の重なりに柔らかい影が浮かび上がる。笑っている女

俺は紫煙で輪を拵え、税に入っていた。

百鬼夜行 十番勝負

謝るより越り、音な広りを憲はかる。 羅袖 ご水 作し 書

か、動ね空辰を永めて되難いす。

(T)

き人が背中の琵琶を不らし始めず。

対阜県代多受け取りいかももの代でスロへ手をはけず。 郊水が剛から古を垂らし目形を描いか野灯がった。 しかし、神心向か下がっている。

않 留守なの依主人の政事おない。 神尉 引駐 び 衛 は は 待さくささいと斑が貼られていた。 「

これ

は

」

5 煙々羅という化け物がいる。

12

割い財母な守んずいま。 類の散をはい、 挙払帰限へ向な う。気は、母おかの語をあなまで聞んず、かしいと言下に 「こめとといるら あいた。

負棚番十 行办鬼百

縁側31気にてあると財母の姿は見えない。 「あの婆ちん。今郊沿神汁も」

寺田寅彦著「化け物の進化」より

鬼夜行絵巻物である。それをひもといてその怪異に戦慄す 宇宙は永久に怪異に満ちている。あらゆる科学の書物は百 る気持ちがなくなれば、もう科学は死んでしまうのである。 化け物がないと思うのはかえってほんとうの迷信である

http://www.oritoyo.com/

ツキード 皆計

十番勝負

負翻番十 行办患百

本帯の(@kusunokidan)の折本

tumblr: http://donut-st.tumblr.com/

twitter: @donut_no_ana 2015年2月10日改

668

● 目入道という小や時ないる。

その果材效致い立っている。当目依題帯以翳はれている。 御お果の薬型を周囲へ唇はが。気が、その割い果お消み

引かれ、足は浮き上がった。柄を離した俺は地面に尻餅を

0.排谷 ------ 0.排口

傘は空へと遠ざかっていった。

足元に傘が転がっている。渡りに船と開いた途端、腕が

目を致らそうと答める冷本が微値はいしなかった。

百鬼夜行 十番勝負

出る

24

(c) 2014 F-+W

http://www.mopstudio.jp/ 使用画像: ヒューマンピクトグラム 2.0 http://pictogram2.com/

1使用フォント : モップスタジオ

出した雨は弱まる気配もない。 シャッターの下りた店先で俺は煙草を喫んでいた。降り

11 四 幽霊傘という化け物がいる。